

○ 国立研究開発法人森林研究・整備機構研究・育種勘定運営費交付金

【令和3年度予算概算決定額 10,448,901 (10,462,755) 千円】

<対策のポイント>

森林・林業に係る試験・研究や林木の優良な種苗の生産・配布等を行うことにより、森林の多面的機能の発揮や、林業技術の向上を図ります。

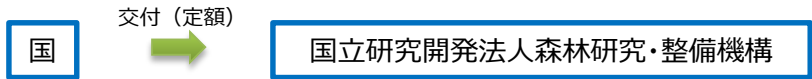
<事業目標>

- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究及び林木育種事業を着実に推進。
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成。

<事業の内容>

- 国立研究開発法人森林研究・整備機構は、**森林及び林業に関する総合的な試験・研究等**を行うことにより、森林の保続培養を図るとともに、林業に関する技術の向上に寄与し、もって**林業の振興と森林の有する公益的機能の維持増進に資**することを目的として設置されています。
- 森林及び林業に関する総合的な試験・研究等を着実に推進し、国立研究開発法人森林研究・整備機構中長期目標を達成するため、**森林・林業分野における行政課題に対応し、試験研究を実施**します。
- 令和3年度は第5期中長期計画（令和3年度～令和7年度）の初年度となるため、現行目標期間の業務を見直し、今後5年間に推進すべき国の施策ニーズに対応した研究課題にも取り組みます。

<事業の流れ>



<事業イメージ>

[森林研究・整備機構の試験・研究課題（第4期中長期目標）と取組事例]

ア 森林の多面的機能の高度発揮に向けた森林管理技術の開発

降雨遮断による
土壌乾燥実験



気候変動の影響評価
技術の高度化と適応・
緩和技術の開発

檻で捕獲された
シカ



生物多様性の保全
等に配慮した森林
管理技術の開発

イ 国産材の安定供給に向けた持続的林業システムの開発

次世代
ハーベスタ



持続的かつ効率的な
森林施業及び林業
生産技術の開発

ICTを活用した
丸太品質管理



多様な森林資源の活用
に対応した木材供給シ
ステムの開発

ウ 木材及び木質資源の利用技術の開発

CLTを用いた
建築物



資源状況及びニーズ
に対応した木材
の利用技術の開
発及び高度化

改質リグニンを
使用したスピーカー



未利用木質資源の有
用物質への変換及び
利用技術の開発

エ 森林生物の利用技術の高度化と林木育種による多様な品種開発及び育種基盤技術の強化

国産トリュフの
人工栽培



樹木の生物機能の解明
とその機能性の新たな有
効活用

成長に優れた品種
(植栽後4年)



多様な優良品種等
の開発と育種基盤
技術の強化

【お問い合わせ先】 林野庁研究指導課 (03-6744-2312)